



問 美里町立小学校適正規模・適正配置の答申について

答 答申内容、アンケート結果については、統合はやむを得ない。できるだけ早く統合を進めるべきと考えています（町長）

問 令和3年10月28日に小
学校適正規模等検討委
員会から提出された答申及び
美里町公共施設等総合管理計
画の学校関係の施設について
お聞きします。特に松久小学
校は、築50年が経過し、駐車
場やグラウンドも狭い。また、
校舎内に入りますと見た目よ
り老朽化しています。大沢小
学校が築40年、東見玉小学校
が築45年です。児童の教育環
境のさらなる充実を考慮しま
すと、統合は、令和15年を待
たず早急な検討が必要と思ひ
ます。今後の対応を含め答弁
を求めます。

町長 答申内容については、
統合もやむを得ないと
の意見をいただいています。
また、課題はスクールバスの
運用方法及び施設維持費が大
きなものであると考えていま
す。具体的な数字を示した上
で、住民からのご意見を伺い、
十分な理解を得ながら検討し
たい。また、最新の設備を整
えた施設、町の木材を利用し
た施設、地産地消的な校舎な
ど、議会や住民に説明ができ
るよう必要な経費等も含め、
お示ししたい。町民の皆様方
のご理解が得られるところを
もって、できるだけ早く統合
を進めるべきなのかなと考え
ています。

教育長 人口減少や施設の老朽
化など諸課題のご指摘
を受け、将来は、1校に統合、
時期については複式学級が予
想される令和15年ごろまでに
設置場所については、町の中
心などの答申内容となってい
ます。また、令和3年度末に
は、中学生までの保護者に対
象として、適正規模・適正配
置等に関するアンケートを実
施しました。アンケートでの
学校統合への考え方は、統
合すべきであるが21・5%、
統合もやむを得ないが71・
1%となり、統合におおむね
賛成である回答が92・6%と
非常に高い結果となりました。
今後コンサルティング会社等

討していきます。

その他の質問

- 教職員の働き方改革と部活
の地域移行等について
- 給付型奨学金について

に委託し、専門的な見地から
実現に向けた諸課題を洗い出
し、具体的な解決方法を検討
するとともに、住民、保護者
の皆様に必要なご理解を得た
上で、慎重に進めたいと考え
ています。
美里町公共施設等総合管理
計画では、各学校の施設修
繕、長寿命化改修の計画に基
づき、修繕を実施することで
施設の安全確保に努めること
としており、3小学校につい
ては、検討委員会からの答申
を踏まえ、統合を含めた施
設の在り方を検討することと
しています。統合に関しては、
進めるべき事業と認識してお
り、十分な理解を得ながら検



複式学級とは、小中学校において2つ以上の学年の児童生徒を1つに編成した学級です。小学校の場合、2つ以上の学年を合わせても16人以下（1年生を含む場合は8人以下）となる場合です。





問 葬祭後の行政手続の簡素化について

答 葬儀後の手続については、申請される方の負担を軽減するため改善を進めていきたい（町長）

問 美里町の人口は、令和4年3月1日現在1万980人で65歳以上の高齢化率は33・3%と年々上昇中。

総務省の令和2年国勢調査結果によると、美里町の一般世帯の総数は3833世帯。うち単独世帯が808世帯（21%）、世帯人数2人が1198世帯（31%）。合計すると1人〜2人の世帯が2006世帯（52%）と町内の半数以上。

先日、私の知り合いが2人亡くなりました。いずれも70歳代の独身で、一人暮らしをしていました。

町では、葬儀等が終わり、

落ち着いたらご来庁の上、各種手続をお願いしたいとして、「手続窓口案内」を配布して

います。手続は国民健康保険に加入していたときの国民健康保険証の返還と葬祭費5万円の支給申請手続など、15〜16ほどの手続をしなければなりません。行政手続が煩雑で大変であったとお聞きしています。

このような状況を踏まえて、一人世帯の方等が亡くなられたときにどのような行政手続が必要なのか。また、町民の皆さんが少しでも簡易に、分かりやすく葬儀後の行政手続を行えるようにする観点から、簡素化の余地・見直しの必要

等はないのか、答弁願います。

なお、私の一般質問提出後の令和4年6月6日に、届出をする際に印鑑の押印・提出が必要とされていたものが、8つの届出書で不要とされました。ありがたいことです。

町長

葬儀後の手続については、申請される方の負担を軽減するため、引き続き改善を進めてまいりたいと考えています。

なお、詳細については、各課長に順次答弁させます。

住民保険課

住民保険課所管の手続は10あるが、国民健康保険または後期高齢者医療保険に加入されていた方の①保険証の返却と②葬祭費の支給

申請手続等の各種手続の簡素化については、引き続き分かりやすい説明に努めるとともに、記入していただく箇所を今よりもさらに少なくできるように検討し、申請者の負担を軽減するよう工夫してまいります。

税務課

税務課の①土地や家屋を所有していた場合の相続人代表者の届出、②原動機付自転車や小型特殊自動車の廃車または名義変更の手続については、申請者の負担軽減に向け、必要最低限の記入項目に限定できる余地がないか、検討してまいります。

上下水道課

上下水道課の上下水道・農業集落排水・浄

化槽の4つの事務に関する届出については、現在、全て手書きで記入していただく必要がありますが、今後は記入いただく部分を極力削減します。また記載方法も選択肢を丸で囲うなどに変更する等、簡素化の検討を進めてまいりたい。





問 学校、保育園、老人ホーム、障害者施設、役場での職員の定期的なPCR検査を復活すること

答 PCR検査の代替として、抗原検査キットを保育園、幼稚園、学童クラブ及び小中学校へ配布（福祉課）

問 この春、2月から4月が第6波のピークだったと思います。第6波の中で41人とか、1日当たりの陽性者数が多かった日がありました。2月から4月の中で、施設の中のクラスター等があったのでしょうか。

保健センター 陽性者数の年代が高齢者の人数が多いときは、たくさん住んでいる場所であつたかなというところですよ。

問 第7波の兆候の風が吹き出したら、学校や保育園、老人ホーム、福祉施設でPCR検査を復活させてほしい。

町長 県の考え方も高齢者施設では県が抗原検査

キットを配布されているようですから、それと同じ考え方を町はとりたいと思います。

福祉課 PCR検査の代替として、抗原検査キットを保育園、幼稚園、学童クラブ及び小中学校へ配布するほか、職員用として役場に常備する予定です。

ウクライナ避難民の受け入れを表明すること

問 ウクライナ避難民入国者数は、6月5日現在が1237人です。男性が308人、女性が929人、男性は国に残り戦場へか？男性が24.9%、女性は75.1%となっています。

総務課 埼玉県内の市町村で公営住宅を用意し、受入れの体制を取っているのは11市町という状況です。町には

本庄市では市営住宅を意の動きがあり、深谷市では4人を受け入れています。寄居町では町民から役場へ、ウクライナ避難民の方を自宅で一時的に受け入れたいとの相談があつたそうです。また、どんな支援ができるか？との相談があり、社会福祉協議会と日本財団を紹介したそうです。

美里町でも戦争で傷つき、命からがら日本へたどり着いたウクライナ避難民の方の受け入れ表明をできないか伺います。

加齢性難聴者への補聴器購入補助制度をつくること

問 70代になれば約半数の人に加齢性難聴が現れます。これを聞かえないまま放置しておく、周囲との

福祉課 他市町の状況等を参考にしながら検討していきます。

公営住宅がないほか、避難民の受入れについては語学的支援や食事などの生活支援、さらには就労・就学支援などを包括的に用意する必要があります。このため受入れを行う場合には、民間企業とも十分に支援・協力を図っていく必要があり、民間企業等の意思も確認しながら研究していきます。

円滑なコミュニケーションが阻害されるだけでなく、うつや認知症の原因にもつながることが分かってきます。補聴器購入補助制度をつくれなにか伺います。

耳あなタイプ



耳あなタイプ



耳かけタイプ

感染が広がるオミクロン株「BA.5」ウイルスの特徴は感染力「BA.2」比35.1%速く広がる。性質は免疫を逃れる性質。ワクチンの効果は大きな違いなしと報告されています。



美里MSミムリン



問

男性トイレ個室にサンタリーボックスの設置を

答

現状では設置しておりませんが、順次設置を進めていきます(町長)

問

尿漏れパッドはどこへというところで、近年前立腺がんや膀胱がんなどの増加に伴い、男性で尿漏れパッドを着用する人が増えていきます。男性用の個室トイレにはほとんどごみ箱がないため、使用した尿漏れパッドの捨て場所に人知れず苦労している男性が多いという記事を読んだので、とても重要なご意見と感じました。

前立腺がんの摘出手術を受けた後は、しばらく尿のコントロールが難しく、尿漏れパッドが必要な男性は少なくありません。捨て場所がないので、ビニール袋に入れるなどして持ち帰っている人が多

いようです。臭いもする尿漏れパッドを外出先から家まで持ち帰るのは神経も使い、しんどいことです。人に知られたくないという心理もあって、この問題はあまり表だって語られてこなかったようです。そこで、伺います。

尿漏れパッドが捨てられるようなごみ箱、サンタリーボックス設置を進めていただきたい。

町長

現状では設置しておりませんが、議員のご提案のとおり必要であると考えますので、順次サンタリーボックスの設置を進めていきます。

総務課

設置の進め方については、トイレの設置ス

問

町有施設の男性用個室トイレへのごみ箱、サ

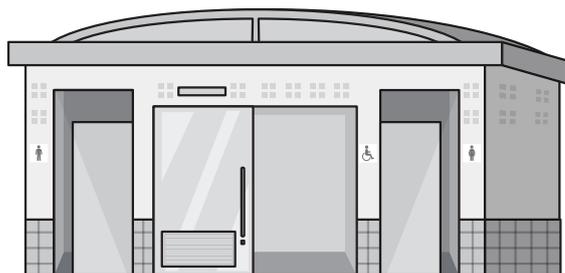


ペーパース等を確認し、設置が可能な男性用個室トイレ全てについて、今年度中にサンタリーボックスの設置を進めていきます。今後とも多くの方が安心して利用できる公共施設の環境づくりに努めていきます。

サンタリーボックスの設置状況はどうなっているのでしょうか。

総務課

町有施設の男性用個室トイレへのサンタリーボックスの設置ですが、一般の方も利用する男性用個室トイレ、多目的トイレの数は、役場庁舎ほか公民館施設、グラウンド施設、公園施設に全部で28の個室トイレがあり、いずれにもサンタリーボックスの設置はありません。





問 町道1級2号線下児玉交差点右折帯設置について

答 来年度にも前後の事業の進捗も含めて補助対象にすべく県に要望していききたい(町長)

問 町道1級2号線(通称農免道路)下児玉交差点右折帯設置について。

町長 この道路は、災害時に救助資材、救援物資等を輸送するための緊急輸送道路に指定されている等、町の重要な路線です。この路線の進め方としては、まず北十条地内の狭隘区間を解消するめどが立つかどうか確認し、その後前後の整備を進めたいと考え、現在北十条地内の狭隘区間を解消するため、令和2年度から事業を進めており、今年度は用地買収を行う予定です。道路拡幅には多額の経費を要しますが、議員ご心配のとおり、町としては補助金

を使いたいと考えていますので、歩道設置の補助事業が十条地内の場合によっては補助対象になるかもしれないので、できれば補助対象にするような形で道路の事業化を進めていききたいなと思っています。ですから、私としては十条のめどがつけば、もう来年度にも前後の道の事業の進捗も含めて補助対象にすべく県には要望していききたいなと考えています。

問 1級21号線(本庄市)の現状について。

建設課 令和3年度に用地測量を行い、今年度に物件調査をする予定とのことです。また、本庄市の計画区間は、

本庄児玉インターチェンジ付近から鷲山橋北側までの範囲となっております。

問 本庄市計画の標準横断面によると、センター振り分け片側3・25メートル、道路幅員6・5メートル、西側に歩道2・5メートル、両側側溝で全幅10・75メートルであります。計画の際は、この標準横断面に準じてなされるのか。

建設課 道路設計につきまして、道路構造令や地権者の意向、さらには本庄市の計画も踏まえながら検討していきたいと考えています。本庄市の計画では、西側に歩道を設置することになっていま

すが、美里町側では十条河原橋先まで東側の歩道となっております。歩行者の安全を確保するため、下児玉交差点で横断して歩道の連続性を保つことも必要と考えます。

問 右折帯は先を見越した十分余裕のある設計について。

建設課 現在県道広木折原線は、円良田地区から国道140号に向けて埼玉県が道路改良工事を行っています。道路改良工事が完成すると、車道が1車線から2車線となることから、交通量の増加が見込まれます。計画交通量を算定する際は、それらの要因も考慮し検討していきます。

町長 毎年信号に対する設置の要望はしておりますので、その中を含めて要望していきます。

問 下児玉交差点時間差信号について、既に渋滞時間帯は児玉町蛭川普濟寺線より2秒長くセットされている時間を3秒に延長する働きかけについて。

町長 時間差信号とは、一方の信号を時間延長し渋滞緩和対策の暫定的な措置です。





問 令和4年度の教育行政重点施策について

答 個に応じた教育を図るとともに、タブレット端末を有効に活用した学習を行いたい（教育長）

問 令和4年度教育行政重点施策について。

教育長 県の実施事業である県学力・学習状況調査を

基に、児童生徒一人一人の学習内容の定着や学力の伸び、学習意欲等を把握し、個に応じた教育を図るとともにタブレット端末を有効に活用した学習を行いたいと考えています。

問 学校ICT環境の活用に関する方針について。

教育長 当町の状況としては小中学校全ての児童生徒

に対し、中学校卒業までの在学期間、タブレット端末を貸与し、授業においても積極的に活用しています。なお、ネッ

トワークの利用については、インターネット上のウェブページを一定の基準で判別し、悪質なサイトを閲覧できないようにするウェブフィルタリングの機能も備えています。

今後は、文部科学省の方針を踏まえ、端末の持ち帰り学習を段階的に推進するため、GIGAスクール端末へのAI学習ソフトの導入を検討し、また故障時に備えた予備端末の確保を図りたいと考えています。

問 令和3年度全国学力・学習状況調査、美里町教育委員会調査結果概要について。

教育長 小学校の平均値が少し下がった原因ですが、

国語については、思考力、判断力、表現力等の分類の中の「読むこと」についての問題で平均を下回っておりました。算数については、学習指導要領の領域で、「変化と関係」についての問題で平均正答率が下回っていました。特に速さを求める除法の式と商の意味の理解についての正答率が低かったことが主な原因だと考えられます。改善に向けて、単位数当たりの大きさをうけて比べられることができるようにすることが大切であるため、数直線や図に表してから立式させ、式の意味を理解させる活動を充実させています。

問 算数や数学が非常に悪い原因はどこにあるか。

教育長 正答率が小学校算数が県と平均してマイナス

2ポイント、中学校数学が県と比較してマイナス3ポイントですので、非常に悪い結果ではないとは思いますが、原因として、公式は分かっているが、それを活用できなかったことではないかと認識しています。

問 歴史教科書観の転換の必要について。

教育長 美里町の教科書採択については、調査員による調査、学校による調査、展示会場でのアンケートを参考

に、第16採択地区教科用図書採択協議会で選定し、その後美里町教育委員会で採択をしています。今後の教科書採択についても、第16採択地区教科用図書採択協議会で十分検討し、子供たちの学習にふさわしい教科書を引き続き採択していきたいと考えています。



令和3年全国学力・学習状況調査結果（埼玉県）



令和4年度埼玉県教育行政重点施策

